

もみ殻からシリカ粒子

阪大とデスク・トゥー・ワン・せつけん製品化

繊維製品にも

大阪大学接合科学研究
所の近藤勝義教授、宝石

企画・販売のデスク・ト
ウー・ワン（甲府市、佐

藤俊男社長、

055・22

4・210

0）は共同

で、もみ殻か

ら取り出した

多孔質シリカ

（SiO₂）

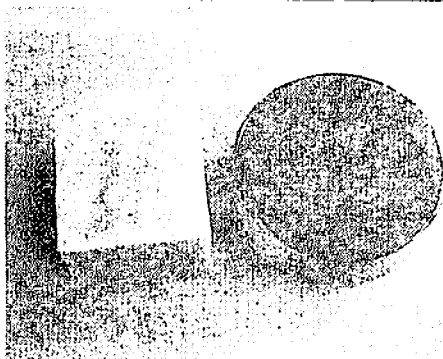
粒子入りのせ

つけん（写

真）を試作し

た。シリカは

洗顔フォーム



などに入っているスクラ
ブ（粒子状物質）の役割
を果たす。同社は「のせ
つけんを、ネット通販な
ども考えられるため、繊

維製品などへの用途も開
拓する。
もみ殻からシリカを得
る手法は近藤教授が開発
した。シリカ粒子はせっ
けんの原料段階で0・5
%（重量比）または0・
25%（同）の割合で添加
した。シリカ粒子は粒径
3μm～5μm（マイクロ
は100万分の1）で、
数億ナノ（ナノは10億分
の1）の微細孔がある。
このため粒子の表面積
は1μm当たり220平方
μm。同じ粒径の通常の
シリカの10倍以上にな
る。
添加するシリカは、医
薬部外品原料規格に適し
ていることを、第三者機
関での試験で確認した。